

特集

あなたの町の消防団！

第六分団



消火栓の開け方



スタンドパイプ接続



放水体験



消火器を使った消火体験



消火器を使った消火体験

●担当地域

第六分団の担当地域は、別所1～7丁目、別所中里台、中里1～4丁目、中里町、永田南1、2丁目、永田山王台、永田東1丁目の一部、六ツ川1～4丁目を4班で対応しています。

●分団の特徴

南消防団の中で一番広いエリアを担当し、保土ヶ谷・戸塚・港南の3区に隣接する地域で活動しています。

●主な訓練内容

消火器の使い方をはじめ、スタンドパイプなどを使った消火栓からの放水訓練、胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDを使用した応急救護訓練などの指導にあたっています。

●分団長よりひとこと（山口明大）

分団はワンチームで地域と繋がり、消防署・出張所と連携し災害に対応していきます。

地域の皆様へ安全・安心をお届けするために、顔の見える活動を心がけています。

防災訓練に積極的に参加し、地域とのつながりを大切に！

南消防団だより

令和7年
春号
第34号

発行・編集 南消防団広報委員会

特集

あなたの町の消防団！

皆さんは、災害からこの町を守るために活動する消防団が6つの分団に分かれていることや、地域別に担当していることをご存知でしょうか？

消防団をより多くの方に関心を持っていただけるように、特集として各分団のPRを企画しました。消防団だより第32号では第一分団、第二分団、第三分団を、この第34号では第四分団、第五分団、第六分団を紹介いたします。



南消防団担当区域図

南消防団長 みやもと やすあき 宮本 康明

南消防署長 わだ せいめい 和田 誠名

平素より消防団活動にあたり、多大なご理解とご支援を賜り心よりお礼申し上げます。

さて昨年は、能登半島地震をはじめ、南海トラフ地震情報が初めて発令され、日本各地では大雨による土砂災害など自然災害への対応が求められました。私たち消防団は、地域防災の中核として、住民の方が安全で安心して暮らせるように一層努力してまいります。これからも、消防団・消防署・地域と連携し更なる地域防災に取り組んでいきます。

昨年中は消防業務に対し、多大なご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。令和6年は、区内においては大きな災害は無く平穏な一年であったと言えますが、国内では元旦の能登半島地震をはじめ豪雨による災害など各地で深刻な被害が発生しました。本年も過去の災害を教訓として消防署と消防団が連携し、様々な災害に迅速かつ的確に対応していく所存です。結びに平穏で輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。

南消防署
通信

救急車の適正利用を！

令和6年、区内の救急出動件数は15,534件でした。救急車は、けがや病気など、緊急に医療機関での受診が必要な人を搬送するためのものです。救急車を必要としている人のために、適正利用にご協力をお願いします。

救急車を呼ぶか迷ったときは

電話
救急相談センター
#7119
または
232-7119/523-7119

専門家がアドバイスをします。

詳しくはコチラ→



パソコン スマートフォン
救急受診ガイド
緊急性や受診の必要性を確認できます。
横浜市救急受診ガイド
詳しくは
コチラ→

詳しくは
コチラ→



南消防団員募集！

18歳以上の区内在住・在勤・在学者を募集しています。



詳しくはコチラ↑

問合せ：南消防署総務・予防課（担当：消防団係、予防係）253-0119

